

株成益亦請福幸於候侍を已段來あり

縹々北海道山林直營斗画ニ生減懇集有る

亦昔状極難立幸一ニ幸存、然ル先

般大毒晚錦地(東京)亦同候後山林直營の

有利左る事愈難立茲ニ断宇として自營

政、事不高議中難立然る不也、中

上下送了、通了事業監督者人送中子免角

延川政、し來り時機下あり、然日大に憂

虞政展、も亦の女在是能考業亦就中

某生機を以て創ととあるは道一者々に其書
解り止をなす矢か上の出籠本國から去り
付書面子の右監書上の子は乃老義凡次方
み方の時より至平ノ事情少聞密ノ事
本監書志の考家み能て本國諾以監書
上事の旨の打雷梓受政一目茲に大
安堵付し基礎愈雄定付し亦厚情の
収伏し奉福毎右子付出仰し子隨い一昨
十甲の大森ノこと馬関表へ此書夜り
倚車子集込まぢり出関るると於十音午

前九時同地百粒銀り取組事量監費
金子鹿千五百也去地二十銀り支床へ
あり増収為習あり送金仕凡み付定めし
あり手し集らるり此書一とはなすなり
并為大除し
傍切之止何れと元分此配慮を頂き居り
然切り子集りは亦之重任を承領し忍入り
事一其み出せり為り亦車の事情此推
察亦房の事なり我切は此は一層
の亦運急となす上切何れ

可然也 監智 内質 業心 業心 宜交 成反

可 監智

右 考 之 宜 也 早 之 持 是 乃

内 監 早 字 八 月 十 七 日

三 念

内 監 早 字 八 月 十 七 日

内 監 早 字 八 月 十 七 日

内 監 早 字 八 月 十 七 日

内 監 早 字 八 月 十 七 日

明治四拾年八月十六日扣狀

直營 付武富 依頼狀

武富 善吉 棉 渡瀬 良助
武富 未吉 棉 伊丹 誠一
大森 晃

